

会議概要

開催概要

- 名 称 第1回第三次新潟市子ども読書活動推進計画策定有識者会議
- 日 時 令和元年6月28日（金）午後6時30分～午後8時30分
- 場 所 新潟市立中央図書館 3階 研修室2
- 出席者 委 員 足立幸子委員，押木和子委員，小野かおる委員
郷扶二子委員，佐藤勇委員，高橋昌利委員
事務局 吉田館長，辰口館長補佐，山下館長補佐，西脇担当，餅谷主幹
三條主任，大野主査，岡村主査
傍聴者 0名

○議事

- 1 「第三次新潟市子ども読書活動推進計画」の策定についての説明
 - ・ 現行計画で設けている「新潟市子ども読書活動推進計画庁内推進会議」に第三次計画策定の役割を付加し、「第三次新潟市子ども読書活動推進計画策定有識者会議」の意見をいただきながら策定します。また，策定にあたって，図書館協議会から意見聴取を行うとともに，パブリックコメントを実施します。
 - ・ 計画の期間は令和2年度～6年度（5年間）
- 2 現行計画における新潟市の取組についての報告
 - ・ 平成26年度から30年度までの主な取組，成果と課題を報告しました。
- 3 有識者委員の主な意見
 - ・ ブックスタートの継続を望む。保育園や幼稚園，こども園等で保護者対象にブックスタートを受けたその後の調査を行うと良い。
 - ・ 親自身に絵本の楽しさを実感してもらうことが大切。親向けの絵本があっても良い。
 - ・ 子どもたちに読むことを習慣づけるには周りの環境が大切。絵本を保護者に浸透させていくには園の先生も絵本について勉強しなければならない。
 - ・ 保育園や幼稚園，こども園にある本は限られているので，公立図書館からの団体貸出サービス「Book Pack」の周知徹底，PRをすると良い。
 - ・ 学校の中で行われる異学年交流で，上学年が下学年に読み聞かせをすることで，本の楽しさを実感することもある。子ども同士の読み聞かせも大切。
 - ・ 特別支援学校，特別支援学級の読書環境の整備は，これからまだまだ研究が必要。様々な取組を行い，それを発信して行ってほしい。

上記の内容で意見交換を行いました。